

通信／バックアップ



通信／バックアップについて	11-2
ネットワークの設定	11-3
Wi-Fi	11-3
ワイヤレス LAN（無線 LAN）の設定	11-3
その他の設定	11-5
ドメインへの登録	11-5
パソコンとのデータの同期	11-6
ActiveSync®	11-6
パソコンの動作環境について	11-6
ActiveSync® で同期できる情報	11-6
パソコンに ActiveSync® をインストールする	11-7
ActiveSync® を設定する	11-7
USB ケーブルを接続して同期する	11-8
Bluetooth® で同期する	11-8
パソコンでファイルをコピーする	11-9
Windows Mobile® デバイスセンター	11-10
パソコンの動作環境について	11-10
Windows Mobile® デバイスセンターで同期できる情報	11-10
Windows Mobile® デバイスセンターを設定する	11-11
USB ケーブルを接続して同期する	11-12
Bluetooth® で同期する	11-12
パソコンでファイルをコピーする	11-13

Bluetooth®	11-14
Bluetooth® の設定	11-15
ペアリング	11-15
パソコンとのペアリング	11-15
ハンズフリーヘッドセットとのペアリング	11-15
その他の設定	11-16
Bluetooth® 対応機器を検索して登録する	11-16
データを送信する	11-17
データを受信する	11-17
USB 接続	11-17
USB 接続のできること	11-17
カードリーダーモードでデータを送受信する	11-18
Microsoft My Phone	11-18
利用開始を設定する	11-18
同期する	11-19
同期するデータを設定する	11-19
同期のスケジュールを設定する	11-19
インターネット共有	11-19
便利な機能	11-20
Bluetooth® に関する便利な機能	11-20
Microsoft My Phone に関する便利な機能	11-20

通信／バックアップについて

本機では、Bluetooth® などを利用したデータのやり取り、ActiveSync® や Windows Mobile® デバイスセンターが利用できます。

この章では、データのやり取り、バックアップについて説明します。

データのやり取り

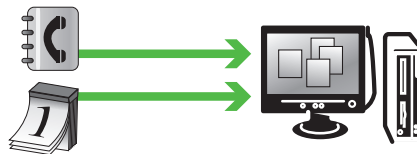
本機では、次の機能を使ってデータをやり取りできます。

- ワイヤレス LAN 通信 (☞P.11-3)
- Bluetooth® (☞P.11-14)
- USB 接続 (☞P.11-17)



もしものときのバックアップ

本機では、ActiveSync® や Windows Mobile® デバイスセンターを利用して、パソコンにデータのバックアップをとることができます (☞P.11-6)。



ネットワークの設定

本機は 3G パケット通信を利用したインターネット接続が設定されています。特に設定を変更しない限り、3G パケット通信経由でインターネットに接続します。

・ワイヤレス LAN など、他の通信機能でインターネットに接続するには、ワイヤレスマネージャーで電話をオフにします。

Wi-Fi


本機など Wi-Fi 対応の携帯電話に接続し、データの送受信をしたり、自宅のアクセスポイントや公衆ワイヤレス LAN サービス、社内のアクセスポイントなどに接続して、インターネットなどにアクセスすることができます。

ワイヤレス LAN (無線 LAN) の設定


ワイヤレス LAN 通信機能によって、自宅のアクセスポイントや公衆ワイヤレス LAN サービス、社内のアクセスポイントなどに接続することができます。

・ワイヤレス LAN 通信機能を使用する前に、「Bluetooth® / ワイヤレス LAN (無線 LAN) 機器に関するご注意」(P.xxvii) をよくお読みください。


ワイヤレス LAN の設定の準備

- 1  → 「ワイヤレスマネージャー」 → 「Wi-Fi」で、ワイヤレス LAN 通信機能をオンにします。
- 2 ワイヤレス LAN アクセスポイントのネットワーク名、データ暗号化の形式、ネットワークキーを事前に確認しておきます。
- 3 アクセスポイントに関する情報（データ暗号化の形式、ネットワークキーなど）は、各アクセスポイントによって異なります。これらの情報を入力できない場合は、ワイヤレス LAN で接続することはできません。
- 4 社内ネットワークに接続する場合は、設定方法を社内システム管理者にご確認ください。

アクセスポイントを設定する

- 1  → 「ワイヤレスマネージャー」
- 2 «メニュー» → 「Wi-Fi の設定」
- 3 対象のアクセスポイントを反転表示 → «接続»

アクセスポイントを追加 / 編集する

- 1  → 「ワイヤレスマネージャー」
- 2 «メニュー» → 「Wi-Fi の設定」
- 3 «メニュー» → 「追加」
 - ・既存のアクセスポイントを編集する場合は、対象のアクセスポイントを選択して操作 5 へ進んでください。
- 4 「ネットワーク名 (SSID)」欄に入力

5 「ネットワークの種類」欄でネットワークの接続先を選択

- Home / Public アプリケーション、VPN を介してインターネットに接続するとき
「インターネット」
- 自宅のアクセスポイントや社内ネットワークを介してインターネットに接続するとき
「プライベート / 社内ネットワーク」

6 「これは非表示のネットワークです」のチェックをつける / 外す

- ネットワーク名を配信しないアクセスポイントの場合は、チェックをつけます。

7 「これはデバイスとデバイス (ad-hoc) の接続です」のチェックをつける / 外す

- アクセスポイントを使用せず直接パソコンなどのワイヤレス LAN 対応機器と接続する場合 (アドホック接続) は、チェックをつけます。特に指定がなければチェックを外したままにしてください。

8 ≪次へ≫

9 「認証」欄でアクセスポイントの認証形式を選択

- 特に指定がない場合は「オープン」を選択します。

10 「データ暗号化」欄でアクセスポイントのデータ暗号化の形式を選択

- 特に指定がない場合は「無効」を選択します。

11 「自動的に提供されるキーを使用する」のチェックをつける / 外す

- 自動的に提供されるキーを使用する場合は、チェックをつけます。特に指定がない場合はチェックを外して、「ネットワークキー」欄にアクセスポイントのネットワークキーを入力します。

12 「キーインデックス」欄で使用するキーインデックス数を選択

- データ暗号化の WEP のためのキーインデックスを設定します。最大 4 つまでのネットワークキーをキーインデックスによって切り替えることができます。

13 ≪次へ≫

- 操作 12 までの設定によっては、次へが表示されず、完了が表示されます。その場合は、操作 16 へ進んでください。

14 「IEEE 802.1x ネットワークアクセスコントロールを使用」欄にチェック

- アクセスポイントがこの認証方式に対応している場合は、チェックを付けます。特に指定がない場合はチェックを外します。

15 「EAP の種類」欄で証明方法を選択

16 ≪完了≫

アクセスポイントを削除する

1 → 「ワイヤレスマネージャー」

2 ≪メニュー≫ → 「Wi-Fi の設定」

3 対象のアクセスポイントを反転表示 → ≪接続≫ → ≪メニュー≫ → 「削除」 → ≪はい≫

接続できないとき

接続できないときは、アクセスポイントの設定を確認してください。特に市販のアクセスポイント機器や公衆ワイヤレスLAN サービスでは、認証、データ暗号化、ネットワークキーの設定が誤っていると接続できません。

それでも接続できない場合は、以下のように設定し、再度接続状態を確認してください。

- 「自動的に提供されるキーを使用する」のチェックを外します。
- 「IEEE 802.1x ネットワークアクセスコントロールを使用」のチェックを外します。

その他の設定

- ネットワークへの接続にプロキシサーバーを使用する場合には、プロキシの設定を行います。詳細については、社内システム管理者にご確認ください。

• 「プロキシ」で、プロキシが設定できません (☉P.12-14)。

- ネットワークへの接続にVPNを使用する場合には、VPNの設定を行います。詳細については、社内システム管理者にご確認ください。

• 「VPN」で、VPNが設定できます (☉P.12-15)。

ドメインへの登録

ドメインに登録すると、本機のインターネット接続を利用して社内ネットワークにアクセスできます。

- ドメインへの登録については、社内システム管理者にご確認ください。

• 「ドメインへの登録」で、ドメインが設定できます (☉P.12-15)。

使いこなしチェック!

設定

- GPRS を追加する (☞P.12-14)
- GPRS を編集する (☞P.12-14)
- GPRS を削除する (☞P.12-14)
- プロキシを追加する (☞P.12-14)
- プロキシを編集する (☞P.12-14)
- プロキシを削除する (☞P.12-15)
- VPN を追加する (☞P.12-15)
- VPN を編集する (☞P.12-15)
- VPN を削除する (☞P.12-15)
- Enhanced GPS を設定する (☞P.12-15)
- ドメインへ登録する (☞P.12-15)
- ドメインへ登録する(詳細設定) (☞P.12-15)
- ドメインへ登録する(オプション) (☞P.12-16)
- ドメインへ登録する (URL 例外設定の追加) (☞P.12-16)
- ドメインへ登録する (URL 例外設定の編集) (☞P.12-16)
- ドメインへ登録する (URL 例外設定の削除) (☞P.12-16)
- Wi-Fi機能を設定/解除する (☞P.12-17)
- ネットワークを追加する (☞P.12-17)
- ネットワークを編集する (☞P.12-17)
- ネットワークを削除する (☞P.12-18)
- ネットワークの詳細設定を編集する (☞P.12-18)
- Wi-Fiの状態を確認する (☞P.12-18)
- Wi-Fiを常にオンにする (☞P.12-18)

パソコンとのデータの同期

ActiveSync[®] や WindowsMobile[®] デバイスセンターを使用して、本機とパソコンとの間でメール、連絡先、予定表、仕事、お気に入り、音楽、動画や静止画などのデータを同期させたり、ファイルをコピーしたりすることができます。

ActiveSync[®]

ActiveSync[®] を使用して、本機とパソコンとの間で情報やデータを同期させたり、ファイルをコピーしたりすることができます。

パソコンの動作環境について

ActiveSync[®] を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

オペレーティングシステム

- Windows[®] XP Service Pack 2 など
Outlook との同期
- Microsoft[®] Outlook[®] 2003 (推奨)
- Microsoft[®] Outlook[®] XP
- Microsoft[®] Outlook[®] 2007

お気に入りの同期

- Internet Explorer[®] 6.0 以上

パソコンとの接続 / 通信方法

- USB ケーブル
- Bluetooth[®]

• ActiveSync[®] の動作環境の詳細については、マイクロソフト社の Web サイトを参照してください。

<http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/prodinfo/mobility.msp>

ActiveSync[®] で同期できる情報

Outlook との同期

- メール
- 連絡先
- 予定表
- 仕事

お気に入りの同期

- Internet Explorer[®] のお気に入り

ファイルの同期

- パソコン側に設定された専用のフォルダの内容

Windows Media[®] Player のファイルの同期

- 音楽 (著作権情報含む) / 動画 (著作権情報含む) / 静止画

注意

- Outlook Expressとは同期できません。
- Outlookはあらかじめパソコン上で起動し、メールや連絡先、予定表などが使用できる状態であることを確認してください。
- Windows Media® Playerのファイルは、パソコン側がWindows Media® Player 10より前のバージョンでは同期できません。
- Windows Media® Playerのファイルサイズが数百 M バイト以上ある場合、同期を2回実行することがあります。
- ActiveSync®で同期中または同期完了後に、タスクマネージャでActiveSync®を終了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パソコンがExchange Serverに接続されているときや、本機とExchange Serverとを直接同期するときは、ActiveSync®のインストールや使用について社内システム管理者にご確認ください。

パソコンにActiveSync®をインストールする

- ウィルスチェックソフトウェアやセキュリティソフトウェアなどをインストールしている場合は、あらかじめそれらの動作を停止/無効にしてください。
- 他のファイル同期用ソフトウェアがインストールされているときは、あらかじめアンインストールしてください。

- 1 マイクロソフトのWebサイトからダウンロード
- 2 画面の指示に従って、ActiveSync®のインストールを行う
- 3 ActiveSync®のインストール完了のメッセージが表示されたら「終了」をクリック→「閉じる」をクリック
 - インストールが完了すると、ActiveSync®が起動します。「完了」をクリック後、パソコンの再起動を行う画面が表示された場合は、「はい」をクリックし再起動を行ってください。

ActiveSync®を設定する

USBの接続を設定する

- 1 «スタート»→「設定」→「接続」→「USB」
- 2 「USB接続設定」欄で「ActiveSync」を選択→「高度なネットワーク機能を有効にする」欄にチェック→«完了»

パソコンと接続する/同期する情報を設定する

パソコンと接続し、同期を行うときにどの情報を同期するかを設定します。

- 1 本機とパソコンをUSBケーブルで接続
 - はじめてパソコンと本機を接続したときは、パソコン側に自動的に同期セットアップウィザードが表示されます。
- 2 同期に関する設定を行う
 - 同期する情報の選択などを行います。チェックを付けた情報が同期の対象となります。同期しない情報はチェックを外します。

3 画面の指示に従って、セットアップを行う

4 同期の設定の完了メッセージが表示されたら「完了」をクリック

- 自動的に情報の同期が開始されます。

同期の設定を変更する

パソコン側の ActiveSync[®] 画面からの操作により、同期の設定を変更することができます。

1 パソコン側の ActiveSync[®] 画面で、「ツール」→「オプション」

2 同期の設定→「OK」をクリック

- チェックを付けた情報が同期の対象となります。同期しない情報はチェックを外します。

• ActiveSync[®] の詳細な使用方法については、パソコン側の ActiveSync[®] 画面のヘルプを参照してください。

USB ケーブルを接続して同期する

1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続

- 自動的に情報の同期が開始されます。同期の設定を行っていない場合、同期セットアップウィザードが表示されます。

自動的に同期を開始しないようにするには

USB ケーブルを使用して本機とパソコンを接続した際、自動的に同期を開始しないように設定することもできます。

1 パソコン側の ActiveSync[®] 画面で、「ファイル」→「接続の設定」

2 「デバイスとの接続時に ActiveSync を開く」のチェックを外す→「OK」をクリック

Bluetooth[®] で同期する

- Bluetooth[®] による本機とパソコンの通信設定（ペアリング）については、[☞P.11-15](#) を参照してください。

パソコン側の Bluetooth[®] の設定に COM ポートを追加する

1 パソコン側で、「スタート」→「コントロールパネル」→Bluetooth デバイス


2 「COM ポート」タブを選択→「追加」をクリック

3 追加された COM ポートを確認

パソコン側の ActiveSync® で COM ポートの接続を有効にする

- 1 パソコン側の ActiveSync® の画面で、「ファイル」→「接続の設定」
- 2 「以下のいずれかの接続を有効にする」にチェックをつける→プルダウンメニューから PC で追加した COM ポートを選択→「OK」をクリック

本機側の Bluetooth® の設定で、パソコン側のサービスを選択する

- 1  → 「ワイヤレスマネージャ」
- 2 «メニュー» → 「Bluetooth の設定」
- 3 Bluetooth® デバイスの中から接続しているパソコンを選択→«次へ»

- 4 サービスの一覧の中から「ActiveSync」にチェックをつける

- 「ActiveSync」が表示されていない場合は、«メニュー»→「最新の情報に更新」を選択します。

- 5 «完了»

- Bluetooth® で同期するための設定の詳細については、パソコン側の ActiveSync® 画面のヘルプを参照してください。

Bluetooth® で同期する

同期の設定を行った後、Bluetooth® でパソコンと本機を接続すると、情報を同期することができます。

- あらかじめ本機とパソコンとの間で、Bluetooth® のペアリングを設定しておく必要があります (☉P.11-15)。
- 1 «スタート»→「ActiveSync」
 - 2 «メニュー»→「Bluetooth から接続」
- パソコン側の ActiveSync® が起動し、同期が開始されます。

パソコンでファイルをコピーする

パソコン上で直接ファイルの本機にコピーしたり、本機からパソコン側にコピーしたりすることができます。

- あらかじめパソコン側で ActiveSync® の設定を行っておく必要があります (☉P.11-7)。

ディスクドライブでファイルをコピーする

あらかじめ PC への USB 接続を「大容量記憶装置」に設定しておきます (☉P.12-19)。

- 1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続
- 2 パソコン側で「マイ コンピュータ」を開き、「リムーバブルディスク」を選択
- 3 パソコン上のファイルや本機のファイルのコピーを行う

ActiveSync® でファイルをコピーする

あらかじめ PC への USB 接続を「ActiveSync」に設定しておきます(●P.12-19)。

- 1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続
- 2 パソコン側で「マイ コンピュータ」を開き、「モバイル デバイス」を選択
- 3 パソコン上のファイルや本機のファイルのコピーを行う
 - メモリカード内ファイルをやり取りするには、「マイ デバイス」を選択し、「Storage Card」を選択します。

Windows Mobile® デバイスセンター

Windows Mobile® デバイスセンターを使用して、本機とパソコンとの間で情報やデータを同期させたり、ファイルをコピーしたりすることができます。

パソコンの動作環境について

Windows Mobile® デバイスセンターを利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

オペレーティングシステム

- Windows Vista® Home Basic 以降

Outlook との同期

- Microsoft® Outlook® 2003
- Microsoft® Outlook® XP
- Microsoft® Outlook® 2007(推奨)

お気に入りの同期

- Internet Explorer® 7

パソコンとの接続 / 通信方法

- USB ケーブル
- Bluetooth®

• Windows Mobile® デバイスセンターの動作環境の詳細については、マイクロソフト社の Web サイトを参照してください。

<http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/prodinfo/mobility.mspx>

Windows Mobile® デバイスセンターで同期できる情報

Outlook との同期

- メール
- 連絡先
- 予定表
- 仕事

お気に入りの同期

- Internet Explorer® のお気に入り

ファイルの同期

- パソコン側に設定された専用のフォルダの内容

Windows Media® Player のファイルの同期

- 音楽 (著作権情報含む) / 動画 (著作権情報含む) / 静止画

注意

- Outlook Expressとは同期できません。
- Outlookはあらかじめパソコン上で起動し、メールや連絡先、予定表などが使用できる状態であることを確認してください。
- Windows Media® Playerのファイルは、パソコン側がWindows Media® Player 11より前のバージョンでは同期できません。
- パソコンがExchange Serverに接続されているときや、本機とExchange Serverとを直接同期するときは、Windows Mobile® デバイスセンターのインストールや使用について社内システム管理者にご確認ください。

パソコンにWindows Mobile® デバイスセンターをインストールする

Windows Vista 以降のOSを搭載したパソコンには、あらかじめWindows Mobile® デバイスセンターがインストールされているものがあります。デバイスセンターがインストールされていない場合は、SAMSUNG モバイルサイトからダウンロードしてインストールしてください。

Windows Mobile® デバイスセンターを設定する

パソコンと接続する / 同期する情報を設定する

パソコンと接続し、同期を行うときにどの情報を同期するかを設定します。

1 本機とパソコンをUSBケーブルで接続

- はじめてパソコンと本機を接続したときは、パソコン側に自動的に同期セットアップウィザードが表示されます。

2 画面の指示に従ってセットアップを行う

3 Windows Mobile® デバイスセンターのホーム画面が表示されたら、「デバイスのセットアップ」をクリック

4 同期する情報を選択

- チェックを付けた情報が同期の対象となります。

5 「次へ」をクリック

6 デバイス名を入力→「セットアップ」をクリック

- セットアップが完了すると、Windows Mobile® デバイスセンターが起動します。

同期の設定を変更する

パソコン側のWindows Mobile® デバイスセンター画面からの操作により、同期の設定を変更することができます。

1 パソコン側のWindows Mobile® デバイスセンターのホーム画面で、「モバイルデバイスの設定」→「コンテツツの同期の設定の変更」

2 同期の設定→「保存」

- チェックを付けた情報が同期の対象となります。同期しない情報はチェックを外します。

- Windows Mobile® デバイスセンターの詳細な使用方法については、パソコン側のWindows Mobile® デバイスセンター画面のヘルプを参照してください。

USB ケーブルを接続して同期する

1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続

- 自動的に情報の同期が開始されます。同期の設定を行っていない場合、同期セットアップウィザードが表示されます。

自動的に同期を開始しないようにするには

USB ケーブルを使用して本機とパソコンを接続した際、自動的に同期を開始しないように設定することもできます。

- 1 パソコン側の Windows Mobile[®] デバイスセンターのホーム画面で、「モバイルデバイスの設定」→「接続の設定」
- 2 「自動デバイス認証を許可する」のチェックを外す→「OK」をクリック

Bluetooth[®] で同期する

- Bluetooth[®] による本機とパソコンの通信設定（ペアリング）については、[☞P.11-15](#) を参照してください。


パソコン側の Bluetooth[®] の設定に COM ポートを追加する

- 1 パソコン側で、「スタート」→「コントロールパネル」→Bluetooth デバイス
- 2 「COM ポート」タブを選択→「追加」をクリック
- 3 追加された COM ポートを確認

パソコン側の Windows Mobile[®] デバイスセンターで COM ポートの接続を有効にする

- 1 パソコン側の Windows Mobile[®] デバイスセンターのホーム画面で、「モバイルデバイスの設定」→「接続の設定」
- 2 「以下のいずれかの接続を有効にする」にチェックをつける→プルダウンメニューから PC で追加した COM ポートを選択→「OK」をクリック

本機側の Bluetooth[®] の設定で、パソコン側のサービスを選択する

- 1  → 「ワイヤレスマネージャー」
- 2 ≪メニュー≫ → 「Bluetooth の設定」
- 3 Bluetooth[®] のデバイスの中から接続しているパソコンを選択 → ≪次へ≫

4 サービスの一覧の中から「ActiveSync」にチェックをつける

- 「ActiveSync」が表示されていない場合は、《メニュー》→「最新の情報に更新」を選択します。

5 《完了》

- Bluetooth®で同期するための設定の詳細については、パソコン側の Windows Mobile® デバイスセンター画面のヘルプを参照してください。

Bluetooth®で同期する

同期の設定を行った後、Bluetooth®でパソコンと本機を接続すると、情報を同期することができます。

- あらかじめ本機とパソコンとの間で、Bluetooth®のペアリングを設定しておく必要があります(●P.11-15)。

1 《スタート》→「ActiveSync」

2 《メニュー》→「Bluetoothから接続」

- パソコン側の Windows Mobile® デバイスセンターが起動し、同期が開始されます。

パソコンでファイルをコピーする

パソコン上で直接ファイルの本機にコピーしたり、本機からパソコン側にコピーしたりすることができます。

- あらかじめパソコン側で Windows Mobile® デバイスセンターの設定を行っておく必要があります(●P.11-11)。

ディスクドライブでファイルをコピーする

あらかじめ PC への USB 接続を「大容量記憶装置」に設定しておきます(●P.12-19)。

1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続

2 パソコン側で「マイコンピュータ」を開き、「リムーバブルディスク」を選択

3 パソコン上のファイルや本機のファイルのコピーを行う

Windows Mobile® デバイスセンターでファイルをコピーする

あらかじめ PC への USB 接続を「ActiveSync」に設定しておきます(●P.12-19)。

1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続

2 パソコン側で「コンピュータ」を開き、「ポータブルデバイス」を選択

- 本機のファイルを直接操作することができますようになります。

3 パソコン上のファイルや本機のファイルのコピーを行う

- メモリカード内ファイルをやり取りするには、「Storage Card」を選択します。

Bluetooth®

本機など Bluetooth® 対応の携帯電話や、他の Bluetooth® 対応機器と無線で接続し、データの送受信ができます。ハンズフリー機器と接続すれば、本機を手もとで操作することなく通話できます。ダイヤルアップ接続機器と接続して、インターネットなどにアクセスすることもできます。

Bluetooth® 通信を利用するには、相手機器も Bluetooth® 対応機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。

Bluetooth® 対応のステレオヘッドフォンを接続することで、音楽を聴くことができます。

連絡先、予定表のスケジュール、予定表、静止画、動画、音声ファイル、音楽ファイルなどを送受信できます。

本機の Bluetooth® の仕様は次のとおりです。


項目	仕様
通信方式	Bluetooth® 標準規格 Ver.2.0+EDR
対応プロファイル	Headset Profile Hands-Free Profile Serial Port Profile Object Push Profile Advanced Audio Distribute Profile Audio/Video Remote Control Profile Basic Printing Profile Generic Object Exchange Profile Personal Area Networking Profile Phone Book Access Profile Human Interface Device Profile
出力	Bluetooth® Power Class2
見通し通信距離 ¹	約 10 m 以内
使用周波数帯	2.4 GHz
Bluetooth® QD ID	BO14543


1 相手機器との間の障害物や電波状況などによって変化します。

- 本機はすべての Bluetooth® 機器との無線接続を保証するものではありません。
- 相手機器が Bluetooth® 標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、操作方法や表示、動作などが異なったり、データの送受信ができなかったりすることがあります。
- Bluetooth® 対応機器が使用する電波帯 (2.4GHz) は、いろいろな機器が共有して使用する電波帯です。このため、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をするときに、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- Bluetooth® 通信機能を使用する前に、「Bluetooth® / ワイヤレス LAN (無線 LAN) 機器に関するご注意」(P.xxvii) をよくお読みください。


Bluetooth® の設定

Bluetooth® 通信機能をオンにする

- 1  → 「ワイヤレスマネージャー」
- 2 「Bluetooth」
- 3 «完了»

• 「オン」に設定すると、ディスプレイ最上段にが表示され、Bluetooth® 対応機器と接続できるようになります。

本機を検出可能にする

- 1  → 「ワイヤレスマネージャー」
- 2 «メニュー» → 「Bluetooth の設定」
- 3 «メニュー» → 「検出可能にする」
- 4 «完了»

ペアリング

ペアリングとは、Bluetooth® 対応機器どうしの無線接続の設定をすることです。一度設定すると、これらの機器は次回からは自動的に接続されるようになります。

- ペアリングするためには、同じパスコードを双方の Bluetooth® 対応機器で入力する必要があります。

パソコンとのペアリング

パソコン側の設定

- 1 使用するパソコン上で、「スタート」→「コントロールパネル」→Bluetoothデバイス
- 2 画面の指示に従って、設定を行う

本機側の設定


- 1 パソコンからペアリングのリクエストを受信→«はい»
- 2 パソコンの画面に表示されているパスコードを本機に入力→«次へ»

- 3 接続の完了→«詳細設定» →«次へ»

- 4 パソコンから提供されるサービスの中から、利用するサービスにチェックをつける→«完了»

ハンズフリーヘッドセットとのペアリング

あらかじめハンズフリーヘッドセットの電源を入れ、ペアリングするモードに切り替えておきます。詳細は、ハンズフリーヘッドセットの取扱説明書を参照してください。

- 1  → 「ワイヤレスマネージャー」
- 2 «メニュー» → 「Bluetooth の設定」
- 3 「新しいデバイスの追加 ...」
- 4 接続するハンズフリーヘッドセットを反転表示→«次へ»

5 固有のパスコードを入力→ 《次へ》


- 固有のパスコードについてはハンズフリーヘッドセットの取扱説明書を参照してください。

6 《完了》

- ハンズフリーヘッドセットが A2DP 規格に対応していると、ステレオ音声で聞くことができます。

その他の設定


デバイス名の変更

- 1  → 「ワイヤレスマネージャー」
- 2 《メニュー》→ 「Bluetooth の設定」
- 3 対象のデバイスを反転表示
- 4 《メニュー》→ 「編集」
- 5 デバイス名の入力→《次へ》→《完了》

Bluetooth® 対応機器を検索して登録する

接続したい Bluetooth® 対応機器を登録済みデバイスリストに登録します。登録時には、本機と相手機器とで同じパスコードを入力する必要があります。


あらかじめ、相手機器の Bluetooth® 機能を有効にしてから操作してください。


- 1  → 「ワイヤレスマネージャー」
- 2 《メニュー》→ 「Bluetooth の設定」
- 3 「新しいデバイスの追加 ...」
- 4 検索に回答したデバイスが表示されたら、登録する機器を反転表示→《次へ》
- 5 パスコード (1 ~ 16 桁) を入力→《次へ》
- 6 相手機器側で 30 秒以内に同じパスコードを入力
 - 相手機器と接続が完了し、相手機器のデータを参照したり取得したりできる状態になります。


・パスコードは、Bluetooth® 対応機器どうしが接続するためのパスワード (1 ~ 16 桁) です。相手がハンズフリー機器などの場合は、ハンズフリー機器側で決められているパスコードを入力します。一度登録した機器は次回からはパスコードの入力が不要になります。

・相手機器との認証が正常に行われなかったときは、もう一度認証を行うかどうかの確認メッセージが表示されます。行うときは操作 5 からやり直してください。

・デバイスのアイコン

 : パソコン

 : 携帯電話

 : ハンズフリー機器 / ヘッドセット

・他の Bluetooth® 対応機器から接続要求がある旨の確認メッセージが表示されたときは、《はい》を選択し、30 秒以内に相手側と同じパスコードを入力します。

データを送信する

データを1件ずつ送信する

1 データの送信操作

2 送信先のデバイスのアイコンを反転表示→《ビーム》

- 送信先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録してください。

データを受信する

データを1件ずつ受信する

1 データ保存の確認メッセージが表示されたら「はい」

使いこなしチェック!

便利 (☞P.11-20)

- 接続したデバイスの登録名を編集したい
- 接続したデバイスを削除したい

設定

- Bluetooth® 機能を設定/解除する (☞P.12-18)
- 他の Bluetooth® 機器から検出可能/不可にする (☞P.12-18)
- Bluetooth® 対応機器を検索して登録する (☞P.12-18)
- ヘッドセットの接続を設定する (☞P.12-18)
- ヘッドセット接続時にポップアップが表示されるかどうかを設定する (☞P.12-18)
- プリンターの接続を設定する (☞P.12-18)
- デバイス情報と Bluetooth® の情報を確認する (☞P.12-19)
- デバイス名を変更する (☞P.12-3)
- 着信ビームを受信するかどうかを設定する (☞P.12-19)

USB 接続

本機を USB ケーブルでパソコンと接続し、データを送受信することができません。

本機は USB2.0 に対応しています。インストール手順やご利用いただけるパソコンの動作環境などについては SAMSUNG ホームページ (<http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/XO1download.html>) でご確認ください。

USB 接続でできること

次のような操作ができます。

- パソコン側からの操作で本機のデータフォルダのファイルを転送する
- パソコン側から送信されたファイルを受信し、データフォルダに保存する
- パケット通信をする

カードリーダーモードでデータを送受信する

メモリカードを取り付けた状態の本機とパソコンを USB ケーブルで接続することで、パソコンからメモリカードにアクセスしてデータの読み書きができます。

パソコンに接続する / 取り外す

- 1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続
- 2 «スタート» → 「設定」 → 「接続」 → 「USB」
- 3 「USB 接続設定」欄で「大容量記憶装置」 → «完了»
- 4 パソコンからデータを読み書き
- 5 パソコンでハードウェアデバイスの取り外し操作
- 6 USB ケーブルの取り外し

注意

- ハードウェアデバイスの取り外し操作を行うまでは、絶対に USB ケーブルを抜かないでください。

使いこなしチェック!

設定

- USB 接続時の設定を変更する (P.12-19)

Microsoft My Phone

本機から SNS に静止画をアップロードすることができます。

利用開始を設定する

- 1 «スタート» → 「Microsoft My Phone」 → «次へ» → «承諾»
- 2 画面の指示に従ってアカウントとパスワードなどを設定 → «サインイン» → «次へ»
- 3 「自動」 / 「手動」を選択 → «次へ» → «完了»
- 4 初回のみ、更新プログラムがダウンロード、インストール、同期が実行されるので、画面の指示に従う

同期する

- 1 «スタート»→「Microsoft My Phone」→«同期»

同期するデータを設定する

- 1 «スタート»→「Microsoft My Phone」→«メニュー»→「同期のオプション」
- 2 「現所在地」のチェックをつける／外す
- 3 同期するデータのチェックをつける／外す
- 4 «完了»

同期のスケジュールを設定する

- 1 «スタート»→「Microsoft My Phone」→«メニュー»→「同期のスケジュール」
- 2 「頻度」欄で「毎日」／「毎週」／「手動」を選択
- 3 「頻度」が「毎週」の場合、「曜日」欄で曜日を選択
- 4 「頻度」が「毎日」または「毎週」の場合、「時刻」欄で時刻を選択
- 5 「ローミング時にこれらの設定を使用する」のチェックをつける／外す
- 6 «完了»

使いこなしチェック!

 便利  P.11-20

- 同期の詳細を確認したい
- 同期した写真を共有したい

インターネット共有

本機を經由して PC などの機器をインターネットに接続することができます。

- 1 «スタート»→「インターネット共有」
- 2 「PC との接続」欄で「Bluetooth PAN」／「USB」を選択→«接続»
 - «メニュー»から接続の詳細を設定できます。「Bluetooth PAN」(P.11-15「パソコンとのペアリング」)／「USB」(P.11-7「USBの接続を設定する」)
- 3 「状態」欄が「接続完了」になったら、PC からインターネットにアクセスできるようになります。

便利な機能

便利

Bluetooth[®]に関する便利な機能

接続したデバイスの登録名を編集したい

☞ → 「ワイヤレスマネージャー」 → ≪メニュー≫ → 「Bluetooth の設定」 → 登録済みデバイスのアイコンを選択 → デバイス名を編集

接続したデバイスを削除したい

☞ → 「ワイヤレスマネージャー」 → ≪メニュー≫ → 「Bluetooth の設定」 → 登録済みデバイスのアイコンを反転表示 → ≪メニュー≫ → 「削除」 → 「はい」

便利

Microsoft My Phone に関する便利な機能

同期の詳細を確認したい

≪スタート≫ → 「Microsoft My Phone」
→ ≪メニュー≫ → 「同期の詳細」

同期した写真を共有したい

≪スタート≫ → 「Microsoft My Phone」
→ ≪メニュー≫ → 「写真の共有」

■ 共有する写真を選択する場合

「共有」 → 写真を選択 → ≪メニュー≫ → 「共有 ...」 → ソーシャルネットワークを選択
→ 「キャプション」欄を入力 → ≪共有≫

■ 写真を共有するソーシャルネットワークを追加する場合

「ソーシャルネットワーク」 → 「ソーシャルネットワークの追加」 → ソーシャルネットワークを選択 → 画面の指示に従って操作